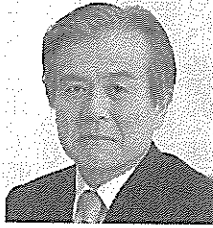


教育家庭新聞

2015年1月1日(木)

「1人1台目標」前倒しが進む

デジタル教科書教材協議会会長 小宮山 宏



たのか、政府も2013年6月の閣議決定「世界最先端IT国家創造宣言」において、2010年代中に、1人1台のタブレット端末配備をはじめ、教育環境のICT化を実現することとし、そのための財政措置として地方交付税を充当するなど、本腰を入れ始めました。

この推進を強く進めるため、協議会では、教育情報化ステイトメントを公表したところ、60近くの県知事や市区町村長が、私どもは力を尽くし

2014年、教育の情報化は力強く前進しました。域内の全小中学生にタブレット端末配備を開始した地方自治体も登場し、政府が掲げた「20年

に1人1台」という目標は、先進自治体によって前倒しされつつあるのが現状となっています。この動きに後押しされ

た。2月には「先導自治体が描く未来」と題してシンポジウムの開催も予定しております。

1人1台のタブレット端末時代に向け、いよいよ動き出した日本。

デジタルを活用した学びには、論理力や思考力を養い、創造力や表現力、コミュニケーション力を育むというメリットがあると思います。

多くの子供たちがこのメリットを享受できるように、私どもは力を尽くしていく所存です。